

森林・木を知ろう

1 はじめに

当センターの森林学習展示館は、県民の皆さんに森林・林業を理解していただくために、研修を実施したり、自然の中で体験する機会と場を提供する施設です。

子ども会、幼稚園・保育園、小中学校、特別支援学校など数多くの団体が、森林学習体験に訪れています。

また、子供のいる家族を対象に森林教室(年間30回)、山を持っている方を対象に林業作業体験講座(年間11回)、一般の方を対象に市民講座(年間4回)を行っています。



写真-1 森林教室「夏の森林観察」の様子
今回は、市民講座について紹介します。

2 平成21年度市民講座「森林・木を知ろう」

地球環境問題を背景に、森林の重要性がクローズアップされている現在、森林・林業への理解は大変重要であると考えられます。この視点から、

森林の水源かんよう機能、林業総合センター内の植物、木材の基礎的知識、農地、林地における野生鳥獣被害と防除対策について、4回にわたり、森林、林業と人間を取り巻く諸事情について、認識を深めながら、森林、林業への関心と関わりを一層深めていただくことを目的とした講座です。

(1) 第1回「森林の水源かんよう機能について」

7月26日(日)に、当センター片倉正行所長が講師となり、第1回講座が開かれました。主な内容は、森林の水源かんよう機能、洪水防止機能の本体、保水機能を高く維持していくためには、森

林生態系等について等、様々なデータ、写真などが示され、受講者は、大変熱心に耳を傾け、森林のもつ機能の理解を深めることができました。

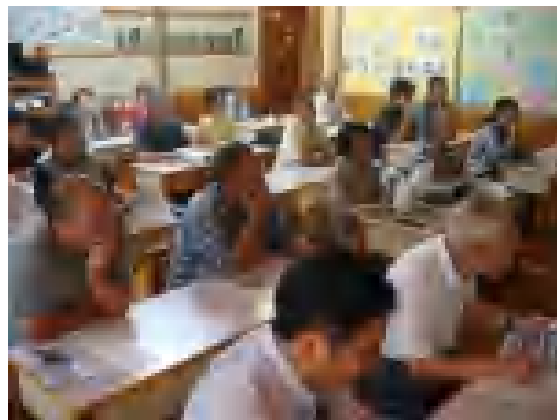


写真-2 第1回市民講座「森林の水源かんよう機能について」の様子

(2) 第2回「林業総合センター内の植物」

8月23日(日)には、展示館職員上石が講師となり、4月から観察をしてきた、当センター内の植物、特に花実の目立つ樹木、野草についての講座を行ないました。講義では、樹木の特性、用途、葉の特徴(見分け方)、名前の由来などを中心に行いました。その後、参加者全員により、センター内の樹木の観察を行いました。



写真-3 第2回市民講座「林業総合センター内の植物」の森林散策の様子

当日は、エンジュ、ヤマハギ、ノリウツギ、リョウブ、ヌルデ、キンロバイなど樹木の花を観察することができました。野草では、ツリガネニンジン、オトギリソウ、オミナエシ、オトコエシ、

フジバカマ、カワラナデシコ、オトギリソウ、カノコユリ、アサマフウロ、ミヤマママコナ、コウゾリナ、ヤマホトトギス、ミズタマソウ、シロネゲンノショウコ等々大変興味深く観察することができました。

また、キハダ、アオハダ、ネジキ、ウリカエデ、クロモジなど幹に特徴のある樹木、モミジバフウ、シロモジ、ダンコウバイ、ハルニレ、アキニレ、フサザクラ、トウカエデ、イタヤカエデ、ユリノキ、コハウチワカエデ、ヒバ、ヒノキ、サワラなど葉に特徴のある樹木、また、ヤマボウシ、ハクウンボク、エゴノキ、アカシデ、イヌシデ、シナサワグルミ、ツノハシバミ、ゴンズイ、ツリバナ、ハナイカダ、ヒョウタンボクなど実に特徴のある樹木なども観察しました。



図-1 展示館周辺の植物位置図

さらに、ニオイカンバ、ニオイヒバなど香りに特徴のある樹木など実際に香りを体験しました。

直接観察できなかった花については、4月から取りためておいたスライドで解説しました。

また、シジュウカラ、ヤマガラ、コガラ、キビタキ、オオルリなど折々の野鳥、メスグロヒョウモン、ルリタテハなど林の中の豊かな生態系についても、スライドで紹介することができました。

参加者の皆さんは、熱心にメモを取ったり、鋭い質問をされたり、樹木、葉、実、野草に直接ふれて充実したひとときでした。



写真-4 第2回市民講座「林業総合センター内の植物」の森林内説明状況

(3) 第2回「木材の基礎的知識」

9月6日(日)は、林業総合センター木材部伊東専門研究員を講師に「木材の基礎的知識」をテーマに、木材の性質と木材に関する正しい知識、木材の使われ方の事例、木材実験施設棟の見学を実施しました。

(4) 第4回「農地・林地における野生鳥獣被害の現状と防除対策」

10月18日(日)は、林業総合センター育林部岡田主任研究員、農業試験場桜井主任研究員を講師に、「農地・林地における野生鳥獣被害の現状と防除対策」をテーマに、大型動物、小型動物の農林被害と対策、鳥獣防止柵の見学等を実施しました。

本年度4回の講座で、延べ68名の方に参加をいただきました。この講座を通じて、森林・林業の一端を理解いただければ幸いです。

(森林学習展示館 上石幸雄)